



石原橋下の釣人 Fishing under the Ishihara bridge ...

© photo by Isao Yoshida

よいことのために手を取りあおう Unite for Good

RI会長 フランチェスコ・アレツツオ

第2570地区ガバナー 坂口 孝
第3グループ
ガバナー補佐 高橋 和男

クラブ強化と活性化のために行動してください!

第3180例会 2025.7.23

天候 晴 (NO. 62-04)

会長 中里忠夫 幹事 都築敏夫

例会日 水曜日 (12:30~13:30) 当番 町田君、皆川君

例会場: ホテル・ヘリテイジ飯能sta.

☎ (042) 975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎ (042) 973-1661 FAX (042) 973-1662

<http://www.hanno-rc.org/>

E-mail hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 中里忠夫会長
- ・ソング 手に手つないで



【会長報告】

今週も非常に暑さが厳しく、私も一晩に2、3回暑さで起きて、日中苦しい時間を過ごしております。皆さんも体には十分気をつけて頑張って頂きたいと思います。入会5年未満の会員の皆様に地区より研修セミナーへの出席依頼が来ております。

飯能市長選と参議院選挙が重なり、先週まで大変な暑さの中での選挙戦でした。市長には新井重治氏が2度目の当選を果たし、参議院選挙では当クラブメンバーの大津力さんが見事当選を致しました(拍手)。大変おめでとうございます。今後の大津さんのご活躍を心からご祈念申し上げます。

このあと3日目のクラブ協議会に入ります。ご協力をよろしくお願い致します。

【幹事報告】

8月6日、第3回の理事会(11時30分から)、役員・理事の方はご出席をお願いします。本日RI会長F.アレツツオ氏のメッセージの印刷が出来上がっており、「年度計画書」に貼ってください。第2570地区と第2770地区(埼玉東部地区)の、2地区共同事業、ポリオ根絶チャリティースーパーカーリングが10月26日(日)に開催されます。本庄総合公園~秩父ミューズパークのツーリングですので、スーパーカーをお持ちの方は是非ご参加頂きたいと思います(笑)。幹事までご連絡ください。9月20日(土)午後1時より入会5年未満の会員対象の地区主催の研修セミナー「ウェスタ川越」。当クラブ12名の方にご案内を配付。是非出席して頂きたいと思います。ガバナー月信7月号が発行。8月号以降は飯能RCのHPから地区HPに入って頂き電子版の月信をご覧頂きたいと思います。第2570地区の公式LINEグループが出来ました。地区の情報が直接スマホに送られる、便利なLINEグループです(受信のみ)。希望される方はQRコードから友達登録をして頂きたいと思います。来週は休会です。

◎ロータリー財団特別寄付者認証バッジ贈呈式
マルチプルポールハリスフェロー
細田伴次郎会員(拍手)



◎大津 力会員ご挨拶

過日行われました参議院議員選挙におきまして、埼玉選挙区の方で当選を果たすことが出来ました。皆様のご支援に感謝を申し上げます。本当に有難うございました。任期は7月29日(火)から6年間となります。臨時議会が8月1日(金)に予定されており、そこで常任委員会等の人事等が決まると思っております。しっかりとこの日本のため、そして飯能のため、頑張って参りますので、引き続き皆様よろしくお願ひ申し上げます。



【委員会報告】

◎前年度幹事

大崎君

前年度役員で年次報告書が未提出の方は是非早目に事務局までメールでご報告ください。よろしくお願ひ致します。

【出席報告】無届欠席0 大野(泰)出席向上委員

会員数		当日	
全数	対象	出席数	出席率
68名	4名	59名	86.76%

【M U】

7/19 (地区) 藤原君

7/22 (第3G) 都築君

【ロータリーの友】

大野(康)雑誌委員

「7月号」は異例づくしで、いつもあるはずのRI会長メッセージが無かったり、いろんな事で大変だったのだろうと思います。年度計画書用のRI会長挨拶にもあってびっくりしたのですが、高野孫左エ門さんの「ロータリーについてもっと話し合おう」という記事(P5)は就任予定だったRI会長を想定して書かれたものですが、Unite for Good「よいことのために手を取りあおう」とのテーマはすでに決まっていて、新会長に引き継がれた形なのですね。本当に大変だったんだなと思いました。P10「ガバナーの横顔」に第2570地区の坂口ガバナーの記事。今月は「母子の健康月間」。P28「月経のタブーを超えて」を読んで、ロータリーもこういうことをタブー視しないで、女性や子どものことを考えてきちんと理解していくかなくちゃならないんだなと思いました。その中で、例えば「タンザニアの少女達に希望を届ける」は、湘南の方で女性のRC会長が複数同期で居た時、タンザニアに工場を設立する等、すごい話も出ていました。インドの『パッドマン 5億人の女性を救った男』という映画の紹介もされていま

す。縦組P4「ヤングケアラーを知ろう～こどもが頼れる地域社会づくり」内沼県議さんも尽力され、埼玉県はヤングケアラーの条例を全国に先駆けて制定した先進的な地域なのですが、「子ども食堂」の次は「ヤングケアラー」への支援も考えに入れるようなのかなと思いました。青春のすごく大事な部分を親、兄弟、祖父母の介護のために費やしてしまう子ども達が居るというのを知るべきかなと思いました。P15「ロータリー俳壇」日高RCの会員3名の方の俳句が並んでいます。中里会長が目標に掲げておられるか分かりませんが、今年度は飯能からもここに載る方が現われるといいなと思いました。本年度も雑誌、どうぞよろしくお願ひ致します。

【S A A 報告】

◎ニコニコBOX

・大津さん、ご当選おめでとうございます。

山川君、間邊君、中里(昌)君、矢島(巖)君

新井君、服部君、伊澤君、坂本君

・望月さん、ムーミン物語社長就任おめでとうございます。

坂本君

・(株)ムーミン物語の社長に就任しました。

望月君

本日計20,000円、累計額93,000円。

◎6日例会当番は安藤、天ヶ瀬会員です。

・閉会点鐘 中里会長

《第62期 第1回クラブ協議会(3)》

司会: 中里会長

◎藤原秋夫国際奉仕委員長



大崎光二、吉野敏弘委員と担当。国際奉仕とは国際ロータリアンとして世界の地域や社会に支援や奉仕活動をすることだと思います。当クラブではベトナムに教育支援として高校にパソコンを寄贈しました。今年度から

RI、地区、クラブで3年位の継続事業を立てるよう言わっていますのでそういう計画が出来ないか考えています。先週土曜日に国際奉仕委員会のセミナーに出席してきました。地区では国際支援委員会が「グローバルサポート委員会」に、国際交流委員会が「グローバル交流委員会」に名称が変わりました。地区では会員からの会費の徴収が無くなり、直接国際奉仕活動をすることが出来なくなっています。他のクラブとのグローバル補助金のサポートをしているような状態です。地区では今年度からタイに医療機器(白内障手術用: 1台約1千万円位)の支援を行います。グローバル補助金はいろいろな条件があり、大変ハードルが高く、なかなか出

来ないのですが、昨年度補助金が下りた案件も7年間かかったということです。ですからグローバル補助金を使っての交流は出来ないかなと思います。「グローバル交流委員会」ではモンゴルと台湾のRCを推薦していて、モンゴルの2クラブから姉妹クラブの要請が来ているそうです。当クラブでやるようであれば手を挙げてやってもいいかなと考えています。国際奉仕は1つのクラブでやるのは本当に難しくなってきているので、第3グループとか他クラブとの共同事業としてやっていかないかと考えています。国内、海外に姉妹クラブを創り、交流を深めていかないかとも考えています。中川律子会員にも協力して頂いてクラブの模索をしているところです。今年度の活動方針として①国際奉仕の事業計画をたてる。②パソコンを寄贈したベトナムの高校に視察に行って皆さんに報告し今後の奉仕活動の参考にする。③姉妹クラブをつくる努力と行動をする。④継続事業：駿河台大学の留学生によるスピーチコンテストへの参加、優秀者による例会での発表。今後、地区のサポート委員会に協力や助言を頂いて奉仕活動をしていきます。1年間よろしくお願ひします。

◎川口 浩青少年奉仕委員長



安藤泰雄、福島毅委員と担当。当委員会の主な事業はロータリークラブ杯少年野球大会とロータリークラブカップせせらぎ杯中学生卓球大会への支援になります。昨年度、財団に対して多くの特別寄付を頂きましたので、今年度、地区からの助成金を満額頂くことが出来ました。新型コロナ感染症も収束てきて参加チームも増えてきましたので、助成金が多く使って、円安も伴って有効に使えそうです。どんな支援がいいのかというのも経験を重ねて分かってきましたので、無駄の無い支援をしていきます。

地区「青少年プログラム委員会」では主に15～18歳の高校生を対象とした2つのプログラムを行っています。1つが「アクト・ライラ委員会」、もう1つが「青少年交換委員会」です。当クラブは小・中学生までを対象とした事業ですが、地区としては会員数の多い飯能クラブですので、今後これらのプログラムに対しても検討していく必要があると考えております。まずそのきっかけとなればということで来年、卓話にはインター・アクトクラブの生徒さんから話を聴けたらなと計画しています。もう1つの「青少年交換プログラム」はロータリアンのお子さん、お孫さんも参加することが出来る唯一のプログラムです。異文化を理解し、国境を越えた友情を築いてもら

いたいとお考えのお父さん、おじいちゃん、お子さんやお孫さんを国際社会に送り出しませんか。1年間どうぞよろしくお願ひ致します。

◎小谷野大典会員増強委員長



沢辺瀬壱、本橋勝委員と担当。今年度、飯能RCの活動重点項目の一つに掲げられた「会員増強」を担当する委員会であり、当クラブの未来を築く大事な委員会と考えております。会員選考委員長の山川パスト会長にご協力とご指導を頂きながら進め

て参ります。入会人数も大事ですが、伝統ある飯能RCに相応しい人材、志のある方を推薦したいと思っております。また、入会した会員に対しましては早く仲間として親睦を深められるようフォローしていきたいと思います。1年間どうぞよろしくお願ひ致します。

◎山川莊太朗会員選考委員長



吉田武明、間邊元幸委員と担当。当委員会は会員増強委員会、職業分類委員会と連携を取りながら、会員候補の、会員としての適格性があるかどうかということで選考させて頂きたいと思います。自分が30年位前に入会した時にもこういう委員会で自分も選考されたのかなと、ふと考えたところでございます。30年前、最初に入った委員会が「高齢者対策委員会」。そういうのがありました。「高齢者って誰のこと言ってるんだろう」と思ったのですが、今になって考えましたら自分のことで、後期高齢者になってしましました。

①会員として人格の評判は良いでしょうか？→30年前にはあったのですが現在はそういうのはあてにならないですね。②会員として協調性が保てる人でしょうか？→これはどうでもいいんじゃないかという感じがするわけです。③会員として奉仕の精神にあふれているでしょうか？→30年前にあったのですが現在ではそんなの分かりませんよね。入ってくる人は大体皆さんが選択されて良い方を連れて来られますからそんなに悪い方は居ないんじゃないかなと思うところです。また、大勢の方に入って頂き「嫌だな」という方はどんどん辞めていきますからそんなに心配することではないのではないか。小谷野委員長は格式があって大変だったのですが、うちの方は連携を取れてやっていればよろしいのかなと。入会候補者に関しては見学会のようなコースがあって、一緒に食事でもして見て頂ければいいのかなと思います。そ

んなに難しく考えずに気楽に来て話でもしながら食事が出来ればいい。最初から偉くて素晴らしい方は居ません。RCは「四つのテスト」を会得して卓話から学び、自分自身を磨く場所です。一番大事なのは、会員として例会の100%出席を目指すことではないのかなと思います。1年間頑張りますので、そんなに硬くならないでやっこくいきたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

◎吉島一良職業分類委員長



大木重雄、矢島巖、高橋弘委員と担当。冊子のP 38を開いて頂きたいと思います。山川さんに全てしゃべって頂きましたので私はしゃべることは無いのですが、今年は今までと形式を変えさせて頂きました。RC

は一業種一人でスタートしましたけれども時代の変遷と共にその縛りも撤廃され、今では職業をもたない人でもRCに入ることが出来ます。飯能RCは現在60名を超えており第2570地区で4番目の人数のクラブだそうです。ただ残念ながら60名を超えて会員の顔と職業が分からなくなってきたおり、職業分類は別の意味で意味のある委員会になったかなと思っております。そこで従来の形を変えて1頁増やし、P 39～40で分類表を作らせて頂きました。HPのほか矢島さんのアドバイスもあり、代表取締役から変わられた方は分かる範囲内で本人に確認して、区分、役職を変更させて頂きました。P 8からの会員名簿と併せて直したつもりですが、もし来年度以降変えたいということがありましたら引き継いでいきたいと思っております。職業分類委員会も会員増強委員会と会員選考委員会と同じグループですので、会員増強に努めて参りたいと思っております。1年間よろしくお願ひ致します。

◎大津 力雑誌委員長



大野康、吉田茂彦委員と担当。今年度も「ロータリーの友」を例会で紹介することにより、世界のRC、そして日本国内のRCの情報を共有することで一体感をもった活動が出来るよう頑張って参ります。このあと私が

どうなるか分からないのですけれども、しっかりと委員長の任は務めて参りたいと思います。是非皆様のご協力をお願い申し上げます。有難うございました。

◎小川晃男ロータリー財団委員長

細田伴次郎、田辺 實委員と担当。ア-



チ・クランフが提唱して始まったロータリー財団は今も続いているわけですが、活動を大きく分けると2つございます。1つが国際財団活動資金(WF)、もう1つが地区財団活動資金(DDF)です。藤原委員長のお話にありましたが、WFは大きな

国際プロジェクトになるのでなかなか難しい。一方、DDFは当クラブでも行っている卓球大会、野球大会の開催等、小さな規模で行われる事業です。川口委員長から紹介があったように今年度は地区から補助金が満額頂けている状態です。これは前年度の当クラブの財団への寄付金が大変多かったということで、P 43に書いておきましたが、今年2月時点で飯能RCの1人あたりの寄付額が268ドルになっておりました。地区の中でも非常に高い水準だったと思います。210ドルを超えたたら満額もらえることになっており、それを遥かに超えたわけで、1人あたり210ドルを超えるために何の方からポールハリスフェローを頂ければいいのか、計算はしてございませんが、是非とも皆様方のご協力を頂いて来年度の当クラブのDDFの事業に満額頂けるようになればいいなと期待しているところです。細田伴次郎会員が早速ポールハリスフェローということで表彰がありました。これに続いて皆さんにご寄付頂けると嬉しいなと思っております。円安で1,000ドルは結構な大金ですが何とかご協力をお願いしたいと思っております。1年間よろしくお願ひ致します。

◎前島宏之米山記念奨学委員長



天ヶ瀬和宏、井上隆委員と担当。小川委員長に寄付のことを言われてしまつたので言い難いのですが、米山にも是非たくさんの方々にご協力を頂ければと思っております。すでに何人かの方々からご寄付のお話を頂いておりますが、より一層

多くの方にお願いしたいと存じます。今年度1年間どのようなことをしていくかというお話ですけれども、米山に対しての理解を一層深めて頂くための卓話を実施させて頂くということがまず一点。それと「米山梅吉記念館」への親睦を兼ねた旅行を企画させて頂ければと思っております。引き続き米山記念奨学事業にご理解を頂いて、皆さんと共に奨学金をたくさん集めて、どのクラブにも負けないような素晴らしい米山事業にしたいと思っておりますのでよろしくお願ひ申し上げます。